SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

カ							主た	SDGs	(17ゴール	169 ع	ターク	デット)	関連項	目	
	: 非	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3 4								16 17
ゴ	<u> </u>	当	/ エ ノ / 模 G	レベル	併せて記載してください。)	1 th 2 th (1)	3 111011 -W-	5 miles 6 miles 6 miles 7	7 man-man: 8 man h	9 ##655##*	10 (0000) √ ⊕ ►	11 0000000	13 :::::	15 total	16 ####################################
1			【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用 条件で、差別しない体制を構築している ・人事部がいつでも相談を受け付ける体制としている			5.1 5.2 5.5	8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7
2	ı		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	基本	・就業規則にて、ハラスメントに該当する行為を禁じている。また、良好な職場を形成し維持するため、定期的にハラスメント禁止に関する掲示を行うとともに、労務管理研修を実施して周知徹底している・相談窓口を設置している			5.1 5.2 5.5	8.5 8.8						16.1
3	1		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・管理者向けに労務管理に関する研修を実施し、適正な労働時間の管理、長時間労働の防止に取組んでいる ・時短勤務・テレワーク制度を導入し、多様な働き方を 許容する勤務体制を整備している				8.5 8.8						
4	ı		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・労働条件、配属、職務内容等において、日本人労働者との差別(違い)は一切ない ・宗教、思想などの面で、環境的な配慮をしている(プレイヤールームの設置など)		4.4		8.7 8.8		10.2 10.3				
5 人権			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員向け安全運転講習会を実施している(外部講師による講習、教習所での法人向けドライバー研修、社内担当者による新入社員研修)・ドライブレコーダーを全車両に設置し危険運転を監視、防止の啓発を行っている・運転中の発症、事故防止のため、社有車の「車両運転許可申請書」を毎年提出することを義務付けている・社有車の運転を許可する判断基準の一つに健康診断結果を加えることで、二次検査の受診を促している・安全衛生委員会を設置し、内容について社内イントラネット等を活用して周知徹底している・労働災害につながる危険性・有害性の有無についての社内点検やリスクアセスメントにより、労働環境、健康確保に関するリスクの調査と対策の審議及び低減措置		3		8						
6	י טוריים לי		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針と計画(心の健康づくり計画)を策定している ・法定のストレスチェック、社の独自基準にもとづいた長時間労働による医師の面接指導を実施している・社内ルールにもとづいた復職支援を実施している・希望者及び長時間労働が続いている社員に対し、産業医とカウンセラーによるメンタルヘルスカウンセリングを実施している		3								
7	1		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できる職場環境を整備することを 宣言し、次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推 進法にもとづいた行動計画を策定して実施しており、 「子育てサポート企業」として認定されている (次世代認定マーク「くるみん」 2015年4月取得)			5.1 5.5	8.5		10.2 10.3				
8	Ī		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割、スキルに応じた様々な研修コースを用 意し、実施している		4	5.5	8	9					
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の内容を確認し、 同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対 応を行っている			5.5	8.5		10.2 10.3				
10	ı		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・「総合生活保険(GLTD)制度」を導入している ・社員食堂では、健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた食事「スマートミール」(健康な食事・食環境コンソーシアム認証)を提供している・人間ドックの受診費用補助の他、脳ドックの受診費用補助制度を導入している・社員の健康保持・増進のため、当社独自の健康調査を全社員へ実施している・二次検査の必要な社員一人一人へ受診を勧奨している・歯科医師による「歯の健康相談」を実施している・血圧計や握力計を社内に設置している		3		8						

	カー	JL =4		T- 40	目体的が取組		0		主な	SDGs (17ゴー							45 4	0 17
	ゴー	非該 当	チェック項目	取組 レベル 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。) 1 2 3 4 5 6 7 8 ・廃棄物の種類・量など現状を把握し、台帳を整備している	8					14		16 17 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
11	IJ		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本		_				•	75		94		.6 12.·		14.1		
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・ビル電気使用量の通年目標を定め、使用量削減の取組みを継続的に行っている。 ・本社ビルは「平成23年度第1回住宅・建築物省CO2 先導事業」に採択されており、温室効果ガス削減を継続している ・温室効果ガスの算定システムを利用し、月別、拠点別の温室効果ガス排出量を算定、把握している。 ・エネルギー使用量の算定システムを利用し、エネルギー使用量を可視化している。						7.3					13			
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・本社ビルはオール電化のビルのため、電気使用量から温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している ・所有する社有車のハイブリッド化を推進している						7.2 7.3				12.4	1 13.3			
14	環境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる	基本	・法令で規制されている有害化学物質が、新規購入物に含まれていない事を確認している ・フロン使用機器は漏えいが無い事を定期的に監視している			3.9		6.3	3			11	.6 12.	4			
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境への影響が少なく生物多様性を阻害しないと思われる、グリーンマーク・エコマーク製品を優先的に購入している					6.0	6							15	
16			【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・設備機器の均等運転を図ることで機器の長寿命に努めている(リデュース) ・社内事務用品(ハインダ・など)の再利用をしている(リュース) ・廃棄物の分別を徹底し、資源ごみを業者に回収させており、廃棄物の再資源化率を監視している(リサイクル)										12.	5	14.1		
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・地下水の利用は熱媒体としてのみ使用し、汲み上げと同量を地下に戻すシステムのため、地盤沈下を防いでいる・雨水をトイレの洗浄水等に使用する事で、水資源を節約している					6.4									
18			【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	· ISO14001を取得している(2001年3月取得)			3.9		6	7				12	13.3	14	15	
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針を定め、ホームページ等で公表している										12.	6			
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルを設置し再生可能エネルギーの利用に 取組んでいる ・2024年度から、本社で利用する電気のすべてをCO2 フリー電気に切り替えている						7.2					13			
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・地下水を熱源水として汲み上げ、使用後は汲み上げた地下水を地中に戻したり、雨水を雨水槽に貯水し、トイレの洗浄水等で使用することで天然資源の持続的利用に取組んでいる										12.:	2 13	14	15	

7	, [主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目									日			
5	<u>,</u> - 非	該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3 4	_					11				16	17
 	ı̈	当	アエ ノ ノ 横 口	レベル	(県などの取侍認証があれば、 併せて記載してください。)	1 500 1 400 41 1 400 41	3 sales 4 sales 4	5 Sept-1000	6 sancorr	7 that some	9 :::	10 6555	11 5145545 12	13:	14 to 15	15 100	16 **REPUTE PRESENT	17 ************************************
22	,		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・贈収賄罪等の不正を防止することを目的とし、接待・贈答等に関する取扱い基準を定めている								Fluence				16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプライアンス・ポリシーに健全な競争と公正な取引の維持について定めている ・コンプライアンス・ポリシーを社内イントラネット、社員手帳で常時確認ができるようにすることで、企業理念基本方針として、社員の意識向上とコンプライアンス体制の整備を図り、行動するよう啓蒙している												16	
24 24	<u> </u>		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・自社製品の商標及び特許を取得し、管理している ・新規事業の検討において、法務担当及び弁護士が 協力して契約書の締結・特許申請等を検討するととも に、特許侵害調査を実施している						3.2	9						
- た - す 3 25 - 情			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・プライバシーマークを取得している(2004年6月取得)・「個人情報保護方針」を定めホームページ等で公表し、体制を整備している・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している・EUの個人データがある場合は、GDPR(EU一般データ保護規則)を踏まえた対応を行っている												16	
26	Е		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・仕入製品が紛争鉱物不使用(コンフリクト・フリー)である事をホームページなどで確認している(富士通・東芝・EPSON・Canon他)												16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への 悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)につい て認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・購買管理規定に購入先選定要件を設け、適切な購入先の選定に努めている ・法令・規定・基準に則った業務プロセス及びルールが 策定され、業務遂行において社員が順守している ・購買部門に限らず、全社的に定期的な業務監査を 行っている 【予定】倫理面については、取引先・事業パートナーと の対話を通し、より理解の浸透を図る			5			8	10		12 1	13 1	4 15	16	17
28			【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ SO/ EC27001を取得している(2004年1月取得) ・ SO/ EC27017を取得している(2022年3月取得) ・「情報セキュリティ方針」を定めホームページ等で公表し、体制を整備している ・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している		3.9						1	2.4				
29 后	및 IIII		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001(2009年12月取得)、ISO/IEC20000 (2014年3月取得)を取得している ・「品質方針」「サービスマネジメント方針」を定め、ホームページ等で公表し、体制を整備している ・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を社内共有するための品質方針・体制・ルールを策定し、社内研修を実施している							9						
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・省資源、省エネルギーに配慮した設計・開発を実施し、環境に配慮した製品及びサービスをユーザに提供している(当社システムの電子マニュアル化、電子帳票の採用、リサイクル製品の利用推奨等)				6					12	13 1	4 15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・特定の社会課題解決をテーマとした製品の開発や提供を行っている(電子ブックやWeb会議の推進によるペーパレス化、テレワーク支援やRPA、ワークフローなどを使用することで実現する新しい働き方の提案とDX推進のほか、行政システム、医療向けシステムなどを開発・提供)		3 4	5		7.3	8 9	.4	11 1	2.5	13	15	16	17

ナ. ラ	- 非	該	エーック項目		があれば、さい。)	 						15 16	17		
	ĭ ≝	当	チェック項目	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 500 frittif	3 minus	5 POLY - DRA 6 1994 CO 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1 1						
32			【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・当社事業である地方公共団体へのシステム提供を通じて行政サービスの向上を図り、より快適な住民生活への貢献を目指している・地域行事への積極的な参加による対話、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている		4			9	11	12	14	15	17
地 域 貢 33 献	会 貢 献 •		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地元の中学校・高校からの就業体験を受け入れ、会社紹介やプログラミングの体験を行っている。 ・社屋にAEDを設置、社員教育を行い、地域の安全・安心保全のための活動を実施ししている・定期的に社員が社屋周辺のゴミ拾い等を実施している		4				11		14	15	17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・広報等の印刷物、ビルメンテナンスなどは地元業者を 優先的に利用している				8	9	11	12 1	3		
35			【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、経営計画書等を通じて、適 時、経営目標を社員に説明し、共有している				8	9					17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築して いる	基本	・コンプライアンス・ポリシーを定め、意識の向上とコンプライアンス体制整備を図っている・労働者派遣法・下請法、インサイダー取引規制など、重要法規のコンプライアンス研修を定期的に実施している・月1回、法令点検を担当部署が実施し、法務担当が確認している									16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	基本	·ISMS事業継続管理基準を定めており、これに則り、 初動体制、対策本部の設置といった体制を整備・運用 している									16	
38 紛 網 (4	‡ 		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・適宜ステークホルダーと対話する場を設け、自社活動への理解を深めていただくとともに、当社に及ぼす影響について把握し、対応している・定時株主総会の開催、株主通信の発行、R資料の公開、株主アンケートの実施等、株主との対話の機会を設けている・セミナー等を実施し、当社製品・サービスへの理解を深めていただくとともに、お客様の要望・課題を伺う対話の場としている									16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		・リスク管理規程を策定しておりし、リスク管理における 行動指針、体制、運用マニュアルを整備している ・年間を通じ、リスク管理に関する計画策定、管理の実 施、有効性評価、是正・改善を実施し、マネジメントレ ビューを行っている									16	
40		_	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSRの考えに基づき、環境・経済・社会の調和を取りながら、安全・安心で豊かな社会創りと持続的な発展に貢献すべく、企業活動に取り組んでいる。									16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・災害対策として初動対応計画(IMP)を策定し、定期的な訓練を実施している・情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を本社及びデータセンターに適用し、情報セキュリティに関する対策を実施している・ISMS事業継続管理基準を定めており、これに則り、初動体制、対策本部の設置といった体制を整備・運用している					9	11	13	3	16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・経営戦略、営業戦略立案及び組織マネジメントの中心となる立場として必要なスキルの習得と実践により経営視点で考える社員を育成する				8	9					17

カ		日什么大阪妇				主な	SDGs	(17=	ール	16ع	39ターク	ァ トツト	ト)関	連項	(目		
テ 非該 エーック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	8	9	9 10	11	12 1	13	14 1	5 16	17
ゴ 当 アェック項目	レベル	併せて記載してください。)	1 th foliat	2 5 5 5 5	3 second	A Made of the Same	5 keris (***)	7 200	8 8860	9 ::::::	10 AMBORAN 	11 session 1	13 :: 18 ::	(a) 14	######################################	16 megg	17 (17)
上記以外で設定した取組項目	·																
独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	8	9	9 10	11	12 1	13	14 1	5 16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録 が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)